

# 教師教育者の専門性を

# いかに育成するか (講演会シリーズ No.14)

**日時**

2016年 13:00  
**2/11** 木・祝 ▼  
 17:00

**会場**

キャンパス・イノベーションセンター  
 東京 (CIC 東京) 2階 多目的室1  
 JR 田町駅から徒歩1分

**趣旨**

リサーチ・ベースドの実践的指導ができる「教師教育者」の育成方略について、日米欧の研究成果と研究交流を通して明らかにします。

■ **プログラム**

13:00-	開会の言葉, 趣旨説明
13:10 ▼ 15:10	<b>【第I部】</b> <b>基調講演</b> (1) 教師教育者による Self-Study の目的と方法ーアメリカの場合ー Dr. Alicia R. Crowe (アメリカ・ケント州立大学) (2) 教師教育者のための専門的職能開発の取組ーオランダの場合ー Dr. Mieke Lunenberg (オランダ・元アムステルダム自由大学)
15:20 ▼ 16:00	<b>【第II部】</b> <b>事例報告</b> 教師教育者を育てる広島大学3つの取組 ードミニカプロジェクト, 教職課程担当教員養成プログラム, GTA 活動ー 岡村 美由規 (広島大学大学院生), 草原 和博 (広島大学)
16:00 ▼ 16:30	<b>指定討論</b> (1) 政策・専門家の議論から 今関 豊一 先生 (国立教育政策研究所) (2) 研究・学習者の視点から 武田 信子 先生 (武蔵大学) ※ビデオによるコメント (3) 実践・指導者の経験から 木村 優 先生 (福井大学大学院)
-16:55	フロアとの質疑応答
-17:00	まとめ, 閉会の言葉

**Dr. Alicia R. Crowe**



ケント州立大学のカリキュラム・教授学習学部の准教授。現在は、学生サービスセンター臨時副センター長ならびに教職課程部長を務める。研究上の関心は、教師教育、社会科教育、教師の学び、self-study の方法論など。彼女の編纂した *Advancing Social Studies Education through Self-Study Methodology* は、社会科の関係者に Self-Study の方法論を紹介するとともに、教師教育に対する理解と向上に貢献した。編著者として *Rethinking Social Studies Teacher Education in the Twenty-First Century* を出版予定。AERA, CUFA/NCSS, international self-study conference での発表多数。

**Dr. Mieke Lunenberg**



アムステルダム自由大学の元准教授。オランダの教師教育者の専門的職能開発支援プログラムで主導的な役割を果たしてきた。ベルギー、ノルウェー、南アフリカ、アメリカ等でワークショップや講演を実施。同分野の論文多数。Jurrien Dengerink と Fred Korthagen との共著 *The Professional Teacher Educator* は、教師教育者の研究動向を国際的に概観した有益な研究書である (玉川大学出版会より2016年に訳書出版予定)。アメリカ教育学会の S-STEP, オランダ教育学会 (VOR), オランダ教師教育者協会 (VELON) 等で活躍、教師教育者育成の国際会議 (InFo-TED) の設立メンバー。

- 主催： 広島大学「学習システム促進研究センター (RIDLS)」
- 共催： 科研 (挑戦的萌芽研究) 「教科の指導法」を指導できる教師教育者の養成・成長：先生の先生はどのように育つか」
- 後援： 広島大学大学院教育学研究科 社会認識教育学講座
- 参加方法： 通訳あり・参加費無料です。当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、下記より事前に申込み下さい。

問合せ・  
申し込み

広島大学大学院教育学研究科 社会認識教育学講座 草原 和博 (くさはら かずひろ)



082-424-6800



kusahara(AT)hiroshima-u.ac.jp

※ (AT) を半角@に置き換えてください。



QRコード  
←  
メール送信用